

埼玉県バスケットボール戦評記入用紙

大会 関東大会県予選  
 試合 準々決勝  
 日時 5 月 16 日 金 曜日 第 4 試合 時刻 14:45  
 記入者名 井上裕史

A チーム	得点	得点	B チーム
川口北 高校	95	67	川越南 高校

$$\left( \begin{array}{c} 34-11 \\ 17-13 \\ 22-22 \\ 22-21 \end{array} \right)$$

戦評

関東大会代表決定戦となる準々決勝、第3シードの川口北対第5シード川越南の対戦。

第1P、ともにマンツーマンディフェンス。

試合巧者の川北は NO4 を中心に川南ディフェンスを翻弄、ドライブ・ミドルシュート・3P シュート・カットイン・ブレイクをしっかりとディフェンスに応じて使い分け得点を重ねる。一方川南も長身の NO11・1対1のスキルに長けた NO6・シュート力のある NO6 など個人技に優れた選手を擁しているが、オフボールでの攻防においては川北に圧倒され思うようにプレーできず20点以上の点差をつけられてしまう。

第2P 5分経過、点差が30点に広がると川北はスタメン5人をベンチへ下げる。川南もここから自分たちのプレーを展開できるようになり、互角の攻防が続くが27点の点差で前半を終了。

第3P スタートインメンバーに戻した川北は川南のエースである NO6 のマークを緩めることなく優勢にゲームを進める。川南も NO11 のゴール下、NO3 の3P シュート、NO13 のミドルシュート・カットインで粘り点差はそのまま最終Pへ。

第4P 関東出場へむけて大量リードではあるがスタートインメンバーを起用する川北。残り6分33点差となったところで新戦力を投入する余裕も見せ、危なげなく勝利し代表権を獲得した。